



大阪ガス エネルギー・文化研究所の客員研究員である弘本由香里が、大阪市立大学の橋爪紳也助教授らとともに執筆した『大阪 新・長屋暮らしのすすめ』が、本年一月に発行された。

巻頭のカラー口絵では、今なお昭和の匂いを残す中崎町と空堀の今の姿を紹介しているのをはじめ、長屋研究をしている著者のレポートや、実際に長屋の再生を手がけ、現在に至るメンテナンスを作り上げた実践者らの取り組み、歴史的考察などまで、幅広く多面的に、大阪における新しい「長屋暮らし」について言及している(詳しい内容は下記の【本書の構成】を参考)。

大阪の伝統的な住まい「長屋の暮らし」を再考

『大阪 新・長屋暮らしのすすめ』

編者：橋爪 紳也
発行：創元社
A5版 154頁
定価1,700円(税別)
問い合わせ先：創元社
TEL. 06-6231-9010

近世から近代を経て昭和四〇年代の高度成長期に至るまで、大阪の経済を支えた庶民が暮らした「長屋」。その魅力について、歴史の蓄積や意味はもとより、長屋に「よって形づくられたまちなみ形成への視点を交えながら、現在その価値を再発見し、新たな命を吹き込むこと」で、新しい住まいや商いの場として再生している長屋の魅力をきめ細かく紹介している。また、若者を中心に、新しく長屋の居住者となった人々が、長屋の何に惹かれ、何を再生しようとしているのかを現場からの声も交えて取り上げている。さらに「これらの事象を通じて、二一世紀に相応しい都市再生のあり方まで問おうとしている。

大阪の長屋再生メンテナンスと、その背景にある大阪が誇るべき都市住宅・長屋文化の特徴、再生現場の技術と思想、そこに現在住む人々の声、そして実際の長屋暮らしのためのノウハウまで取り上げた本書は、スツク再生時代における生きたコンテンツとして活用できるだろう。

編者・著者紹介

橋爪 紳也(大阪市立大学大学院文学研究科助教授)
太田 順一(写真家)
弘本 由香里(大阪ガス(株)エネルギー・文化研究所 客員研究員)
六波羅 雅一(六波羅真建築研究室代表、からほり倶楽部代表)
中谷 ノボル((株)アートアンドクラブ代表)
中谷 礼仁(大阪市立大学工学研究科専任講師)
浅野 穰一(三進社印刷(株)代表取締役社長)
江 弘毅((株)京阪神エルマガジン社取締役編集本部長、
「ミーツ・リージョナル」編集長)
J U N (パフォーマー、「Salon de AManTO 天人」代表)
和田 康由(大阪市立都島第二工業高等学校建築科教諭)
北浦 千尋(編集出版組織体「アセテート」メンバー)

本書の構成

カラー口絵写真 空堀商店街界隈/中崎町界隈
太田順一
第一章 新・長屋暮らしのすすめ 橋爪紳也
第二章 新・長屋の大阪 弘本由香里
第三章 長屋再生建築術
六波羅雅一/中谷ノボル/中谷礼仁
第四章 鼎談、まち暮らし・長屋暮らしのリアリティ
浅野穰一/江弘毅/JUN
第五章 新・長屋暮らしインタビュー集
弘本由香里
第六章 大阪の長屋 和田康由
第七章 新・長屋暮らしのリアル 物件の探し方
資金・改修法・住み方 北浦千尋